

講義名	オ)アジア史【ユニティ特別 火6限】			
担当教員	辻 美代			
開講期・曜日・時限	前期集中 その他 その他	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

主題と概要 <small>注意</small> オンデマンド型のオンライン授業を行います。感染症拡大の状況によって、すべての授業がオンライン授業に切り替わった場合は、Live型オンライン授業に変更することがあり、進め方、提出課題、評価の基準等は、当初の予定から変更されることがあります。RUIKA Portalの「講義連絡」によって通知しますので、こまめにチェックするようにして下さい。 【主題】 アジアの歴史を、ヒト・モノの交流を通じてアジアの歴史を学ぶ。 【概要】 大航海時代以降、アジア諸国に多大な影響を与えた「アヘン戦争」と「朝鮮戦争」を中心に学びます。
--

到達目標 ・アジアを理眼的な視点で捉えられるようになる ・大航海時代以降の「グローバル化」を理解するようになる
--

提出課題 毎回、授業で学修したことをまとめる、また、次回授業内容を調べるなどの課題レポートを課します。授業内で詳しく説明します。
--

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック 毎回授業初めに、前回課題レポートおよび小テストの模範解答を示し、フィードバックを行います。

評価の基準 ・課題レポート（および小テスト）（50％）、 ・中間試験（30％） ・期末レポート（20％） 上記三項目を総合評価する。

履修にあたっての注意・助言他 毎回授業に出席し、遅刻・欠席しないこと。授業中は私語を慎み、積極的に取り組むこと。
--

教科書 ・使用しない。				
---------------------------	--	--	--	--

プリント資料及び参考文献 資料を配布します。 参考文献は授業中に紹介します。

授業計画 1 ガイダンス 2 シルクロードと大航海時代について 3 胡椒・香辛料について 4 インド木綿について 5 イギリス産業革命について 6 アヘン戦争について 7 日本明治維新について 8 まとめと中間テスト 9 日中戦争について 10 中華人民共和国の成立について 11 朝鮮戦争について 12 香港について 13 台湾について 14 復習 15 まとめと期末レポート

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実験、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間 授業中に使った資料を読み返し、授業内容をまとめる（1時間程度） レポート課題または小テストへの取り組み（2時間程度） 次週授業内容について、参考資料をよく読み、要点をまとめる（1時間程度）
--

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン、とりわけアジア地域で活躍するビジネスパーソンとなるために必要な基礎能力を歴史から学ぶことができる。
--

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考
